

可視化データの活用について ～職場内での普及促進～

広島県都市計画課

i-都市交流会議2020

1

1.可視化サイトの活用してみて

可視化を行うメリットとは

- ・コンパクトプラスネットワークの考え方に即したデータを収集することができる。
- ・Google Earthとビックデータ等を活用して、平面的な数値情報を立体的、空間的に把握することにより、見た瞬間で判断することができる。
- ・将来ビジョンを見える化することにより、住民等への説明を分かりやすくすることができる。



i-都市交流会議2020

2

2. 職場内での普及

- ・ 課内での情報共有を行い、「都市構造可視化計画」のサイト及び操作方法を確認。
どのようなものか、まずは操作してもらおう。



i-都市交流会議2020

3. 使用してみたの意見

【操作した職員の感想】

- ・ 都市構造可視化計画を使用してみて、多くの情報を収集することができ、視覚的に把握することができるため、活用できる場面が多くあるのではないかと思います。市町村の土地柄を活かした活用ができるため、積極的な普及・促進を行っていきたい。
- ・ 操作方法になれるのに時間を要するが、一度慣れてしまえば、スムーズに作業ができて、広範囲な情報を推計ごとに把握できるので、活用できる機会が多くあるでは。
- ・ 普及活動をどのようにしていくかが、検討したい。講習会等を県内で開いてみるのも良いかと思う。
- ・ はじめて操作してみたが、GISデータ等を可視化することで、非常にわかりやすくなり、住民説明会や相談会等に活用すると、より理解を深めることができると感じた。

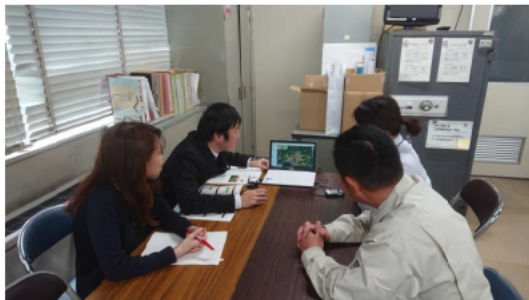
etc....

4.どのようなことに活用できるのか

活用を検討中での意見

◎都市計画の活用

- ・ 都市計画マスタープランの活用
- ・ 立地適正化計画の活用
- ・ 総合交通戦略や公共交通網形成計画への活用
→部分的に活用できるのは。
- ・ 計画立案等の資料として活用できるのでは。
- ・ 補助事業、交付金事業の目標設定や現況、将来推計に使えるのでは。



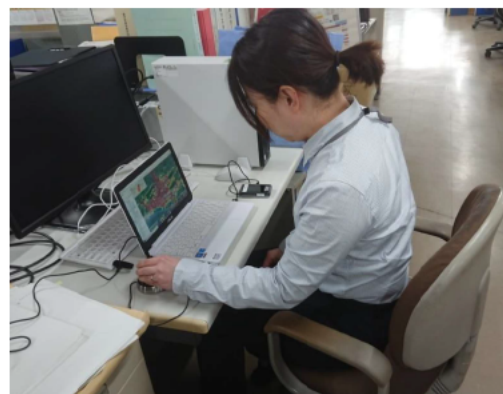
5.課内の定期講習会

活用を深めるために

- ・ 個別で使えるよう、課内の一角に都市構造可視化サイトのパソコンを設置。

2か月に1回のペースで使用した。

- ・ 他課、他グループにも周知活動を行った。
他課、他グループ職員も都市構造可視化サイトを活用した。



6.最後に

各自治体からの意見聞取り

◎「都市構造可視化計画」サイトの講習会に参加されていない自治体を中心に県内の自治体への活用紹介を個別で行った。

【意見】

- ・立地適正化計画の作成検討を、市の内部で協議しているところであり、内部説明資料として活用してみたい。
- ・「都市構造可視化計画」サイトをはじめて知った。可視化することで都市の課題、問題点を抽出することができるので、活用したい。
- ・住民説明会などで、平面的な資料やパワーポイントでは理解を得にくいこともあるので、住民説明で活用してみたい。

etc....